

特定非営利活動法人ポラリス（所在地：宮城県山元町）

事業名

山元こぐまサロンを活用した障害者の学びの場 共創プロジェクト2

主な連携先

ポラリス「こら・ふく」アトリエの会/ポラリス保護者会/山元町（保健福祉課・生涯学習課）/山元町障害者地域活動支援センターやすらぎ/森の中の小さな古本屋スローバックス/東北福祉大学/宮城県立山元支援学校/夢デザイン総合研究所

主な対象

主に就労支援サービスを利用している知的・精神・発達障害者等（20代～70代）

事業の趣旨・目的

障害者福祉の方向性や地域福祉の現状も考慮し、地域の特性を活かした障害者の生涯学習の場について特に以下の点を成熟させ実践する。

- ◆当事者のエンパワメントにつなげるためにより主体的に学べる環境を整備する。
- ◆障害者の生涯学習の実践を勧めながら、共に学び続けられる地域づくりを目指す。
- ◆感染症を予防し、学びの場を継続していくためのオンラインの活用、ICTの活用。

事業実施体制

連携協議会・・・大学教員、特別支援学校教員、教育委員会、福祉課、基幹相談支援事業所、保護者の会、当事者会、地域の企業・団体等の立場の11名+ワーキンググループ8名
コーディネーター・・・NPO代表（社会教育士・精神保健福祉士）

学習プログラムの内容

1. **ユニバーサル学習：障害の有無にかかわらず楽しく学び合う**
コミュニティナース・民俗芸能保存会・住職・音楽サークルが講師となり障害の有無にかかわらず誰もが楽しく学び合う
※リフレッシュコーナー（疲れたり、各々の取り組みたいことをしたい人のスペース）の併設
2. **スローバ文庫&スローバ読書会：地域の図書室&哲学の場**
「ひろばポラリス」（当団体の新たな交流スペース）を活用し、地域の中に気軽にいつでも学べる環境をつくる。ロバのいる古本屋スローバックス店長が月ごとのテーマで読書会を企画開催。スローバックスから貸出文庫（毎月30冊）を配置し、いつでも好きな本を手にとってよめる環境をつくる。

研究の成果と課題

1. **ユニバーサルな学習プログラムづくりが推進のエンジンとなり障害者のエンパワメントにつながっている。**
 - 28回のプログラムに障害の有無にかかわらずのべ794名が参加した。
 - 障害者が主体的に企画にのべ94名、運営にのべ245名参加し、のべ178名が発言ですることができた。
2. **地域コミュニティづくりが進んでいる。**
 - 関係機関への周知や広報を通じた一般町民への告知に力を入れたことで地域の参加者が増え、一緒に学び合い対話を通して互いに理解し合うことができた。



「うたで学ぶ平和のこと」



「差別について考えよう」



サロンの運営に参加

その他研究の詳細など

ポラリス
HP▶



ポラリス
チャンネル▶



「超福祉の学校」
での活動紹介▶

